

海老名市温故館資料展 震災の記憶 ～関東大地震から100年～

大正12(1923)年9月に起きた関東大震災から100年を迎えるにあたり、「海老名市温故館資料展 震災の記憶～関東大地震から100年～」を開催します。

現在の海老名市域は、震災当時海老名村と有馬村の二つの村でした。合計世帯数約1,600戸のうち、半数以上の853戸が全壊するなど甚大な被害を受けました。海老名市域での被害や当時の様子を多くの方に知っていただき、過去の災害を後世に伝える一つの機会として開催します。

1 展示期間

令和5年7月28日(金)～令和5年10月1日(日)
9時～17時15分(入館は16時45分まで)
※9月4日(月)休館

2 展示場所

海老名市立郷土資料館
海老名市温故館 2階
(国分南1-6-36)

3 展示内容

- ・関東大震災と過去の大地震
- ・海老名市域の被害と復興
- ・震災を伝える記念碑

4 入館料

無料



大島記念公園(中新田) 震災記念碑

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市教育部教育総務課 電話 046-235-4925

海老名市温故館資料展

震災の記憶

～関東大地震から100年～



大正14年 海老名小学校上棟式
震災復興では学校の再建が優先されました

大正12年9月1日の関東大地震から100年。
海老名市域での被害や復興について、文書や写真、記念碑からたどります。

令和5年7/28(金)～10/1(日)

※9/4(月)のみ休館 入館無料

海老名市立郷土資料館

海老名市温故館

主催：海老名市教育委員会



開館時間9:00～17:15(最終入館16:45)
神奈川県海老名市国分南1-6-36
☎ 046-233-4028